

コズミックテクノロジーとユーザー様をつなぐコミュニケーション新聞

ありがとう新聞

発行人 有限会社コズミック
 広島県三原市円一町
 4丁目1番40号
 代表取締役
 小積 忠生
<http://cosmic.co.jp>

今月の言葉
 人々には、
 苦難を超えて
 希望をつなげる、
 勇気がある、
 いのちをつむぐ、
 物語がある

び割れ、白い部分はヘドロ層で約5cmの厚さがありました。



プロジェクトでは、去る10月4日、福島県相馬市の塩害水田の調査をおこないました。写真のように乾燥してひ

特集

東日本復幸連絡会・プロジェクトの途中経過

塩害克服と、放射能除染実験が進んでいます

「ありがとう新聞」3号にて「東日本復幸連絡会キックオフ」のお知らせをしました。その中で、東日本大震災による津波で塩害を受けた水田の復興実験について触れましたが、今回はその続編です。

23年は作付けが禁止され、水田内のがれき撤去まで水路からの通水も禁止。24年も通水の保証はありません。ここに一区画一坪×7区画を確保し、コズミックウォーターと、水道水にホタテ貝粉末、サンバース（微生物の力を利用した堆肥）を組み合わせて比較実験をおこなってまいります。

（実験データは現地で取り組んでい

塩害克服実験の詳細と実験経過報告



▲コンパネを切断し塩害水田に差し込んで実験区を作成

No.	コズ水	水道水	ホタテ粉末	サンバース
1	○		×	×
2	○		○	×
3	○		×	○
4	○		○	○
5		○	○	○
6		○	○	×
7		○	×	○
投与量			200g/1㎡	500g/1㎡

この実験は、コズミックウォーターと水道水の比較を、ホタテ貝焼成粉末溶液（1,000倍希釈）、サンバース（微生物の力を利用した堆肥）の組み合わせで比較し、将来大規模な実施が出来る方法を見いだすことを目的としています。

広島・長崎は原爆投下後、1年後50年は草木も生えない」と言われていましたが、今日このように復活しました。
 土壌には放射線を除染するような働きをする土壌菌の存在があるのではないかと考えていましたが、今、福島県でおこなっている実験で明らか



▲代表 小積忠生

大自然の回復能力を高める実験

かにされることを期待しています（実験については今号の記事を参照下さい）。

また、大津波による膨大な大地の塩害対策にも緊急な解決策が求められています。こちらも相馬市を舞台に実験がおこなわれています。

これらの、大自然のもっている回復能力を高める「場」造りを目的とした微生物群とコズミックウォーターの実験が注目されています。なお、現地で孤軍奮闘しこの実証実験に継続的に取り組んでおられる根本鎮郎氏に深謝申し上げます。



▲コズミック水のみ



▲コズミック水+サンバース



▲コズミック水+ホタテ粉末+サンバース



▲水道水+ホタテ粉末+サンバース



▲水道水+ホタテ粉末



▲水道水+サンバース



▲コズミック水+ホタテ粉末
 12月中旬にキャベツの苗を植えて生育状況の比較をしました。実験は進行中ですがコズミックウォーターを使用した方が若干生育状況が良いようです。

実験の概要
 開始：23年10月4日
 場所：福島県相馬市程田
 実験者：いのち復幸クラブ
 うつくしまプロジェクト
 代表：根本鎮郎

●相馬市程田
 ●二本松
 ●南相馬
 ●郡山
 ●福島第一原子力発電所
 ●須賀川
 ●いわき
 ●会津若松
 太平洋

取り戻せるか、3.11 以前

2012 春・飯館村からの報告

今回ご紹介する、放射線除染実験は「東日本復幸連絡会」第1回会議に参加していた、コスミック代表・小積忠生と、微生物的環境技術研究所主管・平井孝志様、そして、いのち復幸クラブうつくしまプロジェクト代表・根本鎮郎様との出会いから始まりました。事前実験の結果、除染の可能性があるのではないかと考え、福島県飯館村の除染プロジェクトも本格的に始まっています。4月末から5月にかけて現地を訪問してまいりました。



◀福島空港にて…
左から矢崎勝彦氏
平井孝志氏
小積代表
根本鎮郎氏。



▲佐藤栄佐久・元福島県知事を訪ね、会談しました。佐藤氏は原発への反対を表明し、活動してきた方です。

実験の概要

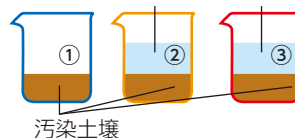
開始：23年5月～

場所：福島市、郡山市、飯館村他

内容：①汚染土壌のみの試験瓶、②汚染土壌+水道水・各種資材の試験瓶、③汚染土壌+コスミック水・各種資材の試験瓶を用意し、それぞれの瓶の中の線量を計測。

水道水
・各種資材

コスミック水
・各種資材



▲屋内実験風景と、現地で奮闘されている根本鎮郎氏。



▲コスミックウォーターの生成は、会員の皆様のご家庭と同様の方法でおこなっています。



▲通行証を受けて飯館村の実験現場にむかいました。



▲飯館村の中にはどこもひとけがありませんでした。

除染は出来たの？

た、実験の結果ですが線量計は、なかなか安定した数字を出してくれません。しかし、傾向としては漸減のようですので、希望をもって取り組んでいます。

北川総合科学研究所との交流開始

アクアポリン研究の第一人者で秋田県立大学名誉教授・北川総合科学研究所所長、北川善親博士との共同研究がスタートしました。アクアポリンとは「水の孔」という意味。動植物の細胞にあり、必要に応じて細胞間に水を通すトンネルの役割をします。コスミックウォーターには、このアクアポリンに関して水道水とは大きく異なる特徴があったのです！

次号で詳細をお知らせしますので楽しみに。

シリーズ コズミックびっくり現象 その1 「キャベツの復活」

スーパーマーケットで半分に切ったキャベツを購入。少しずつ食事に使い芯の部分だけになりゴミ箱へ…。ゴミ箱の中が臭くなるのを防ぐ為にコスミックウォーターをスプレーで噴霧していました。すると、キャベツの芯から新芽が出て、小さなキャベツがゴミ箱の中に出ていました。

▲24年4月11日

▼24年4月23日

そして約2週間後、あのキャベツがこんなに大きくなり花が咲きました。コスミックウォーターをアトマイザーでシューシューと噴霧して粘土とカキの粉を少し入れただけです。
(三重県 西田 多実雄様提供)

お客様へのお願い

コスミックウォーターを使って「あ、変わったな、よくなったな」と思われる事柄がありましたら、電話・ファックス・メールで有限会社コスミックへお送り下さい。ありがとう新聞で紹介させていただきます。

電話 0848-64-3584
ファックス 0848-64-3652
メール cosmic@vega.ocn.ne.jp